

## 第4号議案 令和5年度(2023年度) 事業活動計画 (案)

### (活動の目的)

地域のさまざまな課題の解決と地域資源の活用をめざして、三田市との協働のもと地域住民が一体となって交流の場の拡充や地域情報活動の円滑化を図る。

ここ3年間影響の大きかったコロナ禍の規制も緩和され、構成団体間の更なる連携の強化を図る。なかでも多世代交流や、活動団体や地域のあらゆる人たちによるグループが取り組むオープン事業を核とし、今以上にコミュニケーションの輪を地域の隅々まで広げる。

このことにより、少子高齢社会に適応した、弥生らしい「安心・安全で、明るく・住みよいまちづくり」をめざし、地域住民同士の絆を強めることを目的とする。

そのために、必要に応じて専門部会や実行委員会を設置し活動の充実を図る。

### (活動の内容)

#### I. 主催事業

##### 1) コミセン事務員の配置

コミセン事務員を1名(3名シフト)雇用継続(毎週月～土9:00～13:00常駐)し、各団体の連絡窓口業務とともに、まち協や構成団体の事務的業務の軽減に努める。

##### 2) 多世代交流事業

① コロナ禍のために3年間実施できなかった多世代バス旅行を子どもたちも参加しやすい夏休みに実施する。<予定日:7月29日(土)>

② 新規事業として多世代が興味・関心をもてる芸術鑑賞等を実施する。

③ 「夢ひろば」を活用してニュースポーツなどを実施する。

##### 3) 「夢ひろば」の整備、充実

昨年度キャンピングテーブルを追加設置するなど、随分利用しやすくなったが、不具合が生じている散水栓の交換など継続して整備に努める。また、芝及び低木の管理については委託契約を継続して行う。

4) 自治会の「ほっと841」中心に2・3丁目街区公園の草刈りを年3～4回程度、低木剪定を1回実施する。

##### 5) 「まち協だより」の発行

まち協活動、地域情報の周知、自治会活動への啓発を目的とし、年3回(第13～15号)を発行する。

##### 6) 「とんど焼き」

少年野球コーチOB会を中心にした実行委員会により実施する。

7) コミセン常設AEDレンタル費用、防災用デジタル簡易無線機の電波使用料を負担する。

#### II. 共催事業

本年度も引き続き三田市が定めた「避難行動要支援者支援制度」に基づき、自治会が行う要支援者に対する支援活動が円滑に機能するようまち協として関係諸団体と協議を重ね、成果を得るよう調整を図る。

### III. 支援事業

- 1) 「山野草の庭」の充実及び維持管理に必要な備品、材料費の一部を支援する。
- 2) やよいっ子サロン(放課後子ども教室) 実行委員会が実施している「てらこや(英・数)」や「夏・冬休み宿題お助け隊」、「テニス教室」を支援する。
- 3) 「いきいき百歳体操」「うたごえ広場」等の健康・文化事業の会場費を一部支援する。
- 4) 「オアシス」(毎月第3土曜日)の備品購入等を支援する。
- 5) 「弥生フェス」等の交流事業の資機材費用の貸与と費用の一部を支援する。
- 6) その他オープン事業への支援

### IV. 後援事業

- 1) カフェやよい(毎月第1,3火曜日)
- 2) 「ふれあいカフェ」(毎月第4火曜日)
- 3) 「弥富(ヤフー)こうみん未来塾」(年3~4回)
- 4) 生活支援活動「ハートやよい」の側面的な協力を継続
- 5) 「弥生テニススクール」(毎週金曜日三田谷テニスコートで開催)